

はじめに

棚倉町教育委員会教育長 松本市郎

新型コロナウイルス感染症への対応の中、今年も町内の先生方の尽力によりキャリア教育の実践が着実に成果を挙げ、このような集録にまとめられましたことに、衷心より感謝申し上げます。

さて、現実空間と仮想空間が融合したSociety 5.0の時代が到来します。今年度は感染症対策がICT活用に拍車をかける結果となりました。学力向上推進の会議はほぼオンラインで進められ、「新しい生活様式」の中で3密を避けながら基礎的・汎用的能力を伸ばす試みが、各学校の創意工夫のもとで数多く行われた年でもありました。

RVPDCAを基本とした棚倉型サイクル学習により、「自己を知り、目標設定をする」過程を重視して自己マネジメント力を育てた事例が報告され、主体的に学ぶ子どもたちの姿が確実に具現されております。特に、学習計画表や自己管理型手帳などを活用し、授業と家庭学習をつないでいく取組が広がってきております。

また、基礎的・汎用的能力を「ほめポイント」として具体化し、教科等横断的かつ評価と指導をこまめに行うシステムも整えられてきました。それらは、基礎的・汎用的能力を媒介として、幼・小・中の校種間をつなぎ、学校と子ども、保護者や地域をつなぐ取組として具体化されつつあります。特に、幼稚園から小学校への「砂遊び」活動や「就学支援シート」の送付、小学校から中学校への「キャリアパスポート」や「自分発見シート」の引継ぎなどは、その顕著な事例であります。

本町がキャリア教育を推進して8年目となりました。夢や目標を持ち、自ら考え、学び続け、豊かな未来を切り拓いていく子どもたちを育てていくことが、私たちの使命です。子どもたちは、ふるさと・棚倉町のこれからを担う大事な宝であります。今後も学校と地域が一体となってキャリア教育を推進していく所存です。

結びに、ご指導いただいたすべての皆様に、心から御礼を申し上げますとともに、今後とも本町のキャリア教育にご指導をお願いして、あいさつといたします。ありがとうございました。